

# ③ 八戸市南郷地区におけるコミュニティ交通の再構築とサポート・検討母体の確立

## メンバー

**実施者**：八戸市地域公共交通会議  
**連携団体**：岩手県北自動車（株）南部支社、三八五交通（株）、（有）日の出タクシー

## 活動目的

八戸市南郷地区の住民について、地区内外の公共交通移動手段を確保すると共に、特に地区内移動を担う運行主体（運行事業者・運行組織）が長期的に存続できる具体的な戦略を立案する。

**対象地域**：  
青森県八戸市南郷地区  
**人口**：  
224,617人  
(うち南郷区3,025人)  
R3.3.31現在



## 取り組み内容

**キーワード**：・路線バス廃止／コミュニティ交通再編／デマンド交通

1. 荒谷線及び市ノ沢の調査：南郷地区内から市内への移動実態が明らかになった。
2. 南郷コミュニティバスの調査：南郷地域内の移動実態が明らかになった。
3. 南郷コミュニティバスの実証運行：既存コミュニティバスの再編を目的に実施。利用者数274人。  
(想定していた利用人数を下回ったが、2便目の潜在需要が得られた)
4. 南郷コミュニティタクシーの実証運行：4月以降廃止する路線バスの代替手段PRを目的に実施。利用者数40人。  
(想定していた利用人数を大幅に上回った、代替手段の必要性が得られた)

## 2020年度の活動実績

1. 南郷コミュニティバスの実証運行：2020年8月から2ヶ月間、既存コミバスの再編。利用者数274人。  
(想定していた利用人数を下回ったが、2便目の潜在需要が得られた)
2. 南郷コミュニティタクシーの実証運行：2021年1月18日からの32日間、路線バスの代替手段PRを目的に実施。利用者数40人。  
(想定していた利用人数を大幅に上回った、代替手段の必要性が得られた)



## 取り組みが地域に与えた影響

- (量的な影響)
- ・新型コロナウイルスの影響で既存のコミュニティ交通等の利用者が6割以上減っている状況だったが、実証実験を行うことにより、これまで利用されてこなかったコミュニティタクシー等の利用が増えた。従前2回/月程度→実証運行2回/月程度。
- (質的な影響)
- ・路線バス廃止という大きな出来事をきっかけに、住民の中に今後の存続のためにどうすればいいかというような当事者意識が生まれ始めた。
  - ・コミュニティ交通を実施してから約10年間、利用者ニーズを把握するようなコミュニケーションを取ってこなかったため、住民の中にダイヤやルート変更という、問題意識がなかったが、コミュニケーションを取ることで考えるきっかけができたと感じる。

## 取り組みで得た知見（これから取り組む方に伝えたいこと）

ダイヤ変更やルート変更など、実証運行してみなければわからないことが多い。机上で考えるのも大事だが、積極的に実証運行を実施し、その結果をもとに議論を進めたほうが良いと感じた。

## 専門家コメント\_福島大学

- ・平成の大合併で編入された自治体の公共交通網再構築に関する取り組み。再編自体は2021年4月に行われており、順調にスタートした。移動に「困っている」と気づいていない高齢者が多い環境下で、移動需要を創出しようとしている取り組みでもある。
- ・市町村合併により加わった過疎部の移動課題を既存バス路線のダイヤ改正とコミュニティタクシーにより改善させた好事例。人々の生活課題を調べ、対話を通じて状況を整理する「手間」をしっかりかけており、システム導入では得られない効果を見出した。